

報道資料

奈良県コンベンションセンターが 「ウッドデザイン賞2020優秀賞（林野庁長官賞）」を受賞しました

本日、奈良県コンベンションセンターが、第6回「ウッドデザイン賞^{※1}2020」優秀賞（林野庁長官賞）（ハートフルデザイン部門^{※2}）に選出されました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、表彰式は、12月18日（金）に関係者のみで執り行われ、その様子をオンラインで映像配信されます。

- ※1 ウッドデザイン賞とは、木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度です。6年目となる今回は、応募総数432点が集まりました。
- ※2 木を使うことで快適性を高めたり、五感や感性に働きかける、リラックス効果や健康増進効果がある、作り手や担い手のストーリー性を伝えている、建築・空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。



ウッドデザイン賞受賞

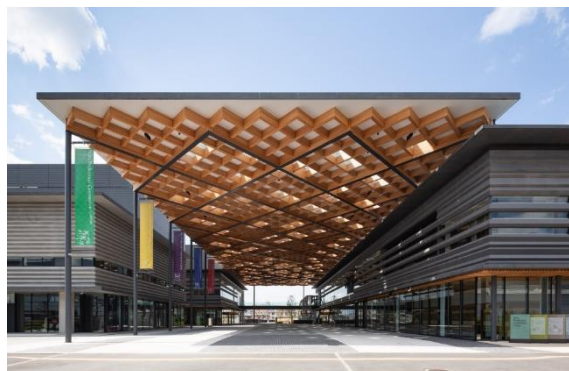
JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2020

他の受賞作品等詳細は、
ウッドデザイン賞ホームページをご覧ください

<https://www.wooddesign.jp/>

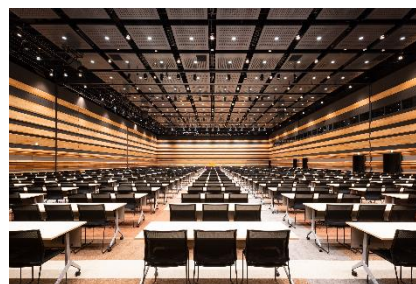
【選定理由】

吉野杉集成材と鉄骨のハイブリッド架構の大屋根、広場のスケールの大きさと意匠が印象的な施設で、地域材の多様な活用方法を見せてくれる魅力的な空間である。構造材、内外装材のみならず、スギ皮和紙や鉋くずかんなを貼ったガラススクリーンなど、アート性に富んだ多彩な表情が面白い。地域の交流拠点として、万葉集に代表される天平文化の高貴さの表現と木の質感や表情がうまく融合している。



▲【天平広場】

約1,000㎡の大屋根付き屋外広場では様々なイベント開催が可能。若草山の木漏れ日をイメージして天井にトップライトを設けている。



◀【コンベンションホール】

最大2,000人収容可能な県内最大の会議場。天井高9.9m、約2,100㎡の無柱空間。天平文化を代表する校倉造をモチーフとした壁面。

▼【2階ホワイエ】

吉野杉の面皮を用いた天井照明装飾や、年輪の緻密な吉野杉の薄い単板を何枚も重ね、積層し圧着する技術によるベンチなど、館内各所にアーティスト家具を配置している。

